

令和3年度 第6回市民まちづくり会議 次第

日 時 令和3年11月4日(木)
午後6時30分～午後8時00分
場 所 市役所本館2階 全員協議会室

1 開 会

2 オンライン講演

(1) 講演(千葉大学 齋藤雪彦教授)

(2) 質疑応答

3 その他

4 閉会

市民まちづくり会議名簿

	氏名	ふりがな
委員長	松澤 秀和	まつざわ ひでかず
副委員長	坂口 永一	さかぐち えいいち
副委員長	花岡 裕子	はなおか ゆうこ
	有賀 剛	あるが つよし
	五十嵐 豊峰	いがらし とよみね
	大谷 真宙	おおたに まちゅう
	荻原 猛	おぎわら たけし
	小夫 真	おぶ まこと
	倉嵩 智彦	くらしま ともひこ
	篠原 博文	しのはら ひろふみ
	島田 直政	しまだ なおまさ
	鈴木 絵美	すずき えみ
	竹内 直弘	たけうち なおひろ
	田中 隆	たなか たかし
	柘植 香織	つげ かおり
	中澤 亥三	なかざわ いぞう
	水間 源	みずま はじめ
	村山 弘子	むらやま ひろこ
	柳橋 悠香	やなぎばし ゆか

東御市 市民まちづくり会議オンライン講演会

まちづくりで地域は変わるか

-君津市貞元地区を中心とした事例紹介-

- ①まちづくりの様々な面を解説
- ②東御市での展開は
- ③講演者からの提案

千葉大学園芸学研究科

地域計画学研究室

齋藤雪彦

自己紹介

- ▶ 建築系（都市計画学・農村計画学）
- ▶ 一級建築士
- ▶ J R 東海にて駅ビル再開発事業に従事

大学院生時代：京都の町屋研究・保全活動

大阪府堺市観光振興計画策定

会社員時代：東海旅客鉄道株式会社 再開発ビルの計画・設計

東京農工大学→千葉大学：

- ①長野県高森町の地域づくり・観光振興計画策定
- ②千葉県君津貞元地区地域づくり（君津市地域づくりアドバイザー）
- ③岩手県大船渡市細浦地区復興まちづくり・復興計画策定（岩手県専門家派遣事業）
- ④千葉県勝浦市 地方創生プランニングディレクター（内閣府地方創生人材支援事業）

まちづくりとは

- ①住民が主体となり，自主的，自律的に行う活動
- ②地域の環境や暮らしを良くするための活動
- ③地域の変化に対応し新たに行う活動（⇔地域経営：昔からの道普請）

→住民の意志が最も重要

- ・課題はあるのか
- ・課題に取り組む必要性を感じるか
- ・取り組む意志があるか

子どもの勉強に似ている（まち育て）

- ・最後は子ども（住民）のやる気次第
- ・教師（専門家）には限界がある

シティプロモーションとは

単なる自治体・地域の宣伝→？（地方創生メニューなど）

地域の魅力を発掘、来訪者との交流で、地域が住みやすくなる→◎

「まちづくりで地域は変わるか」(学生の質問)

マスコミ等一般的イメージ(地方創生など):
短期的でおおがかりな経済的变化、人口増が可能→困難

実際のところ:
地域の魅力を向上させながら,
(観光客や移住者を少しずつ受け入れ),
雇用の場を増やし
長いスパンで少しずつ経済や人口を改善する

現場での声:
「子どももお客さんも歩いてくれて、むらが明るくなった」
「田舎だなんだ言われてたけど、町で自慢できるようになった」
「俺たちはなんでもできる♪」

まちづくりは住民の総意か？

参加者が「参加しない住民」の利益も考えて（支持されるように）
物事を進める

地域外からの目線

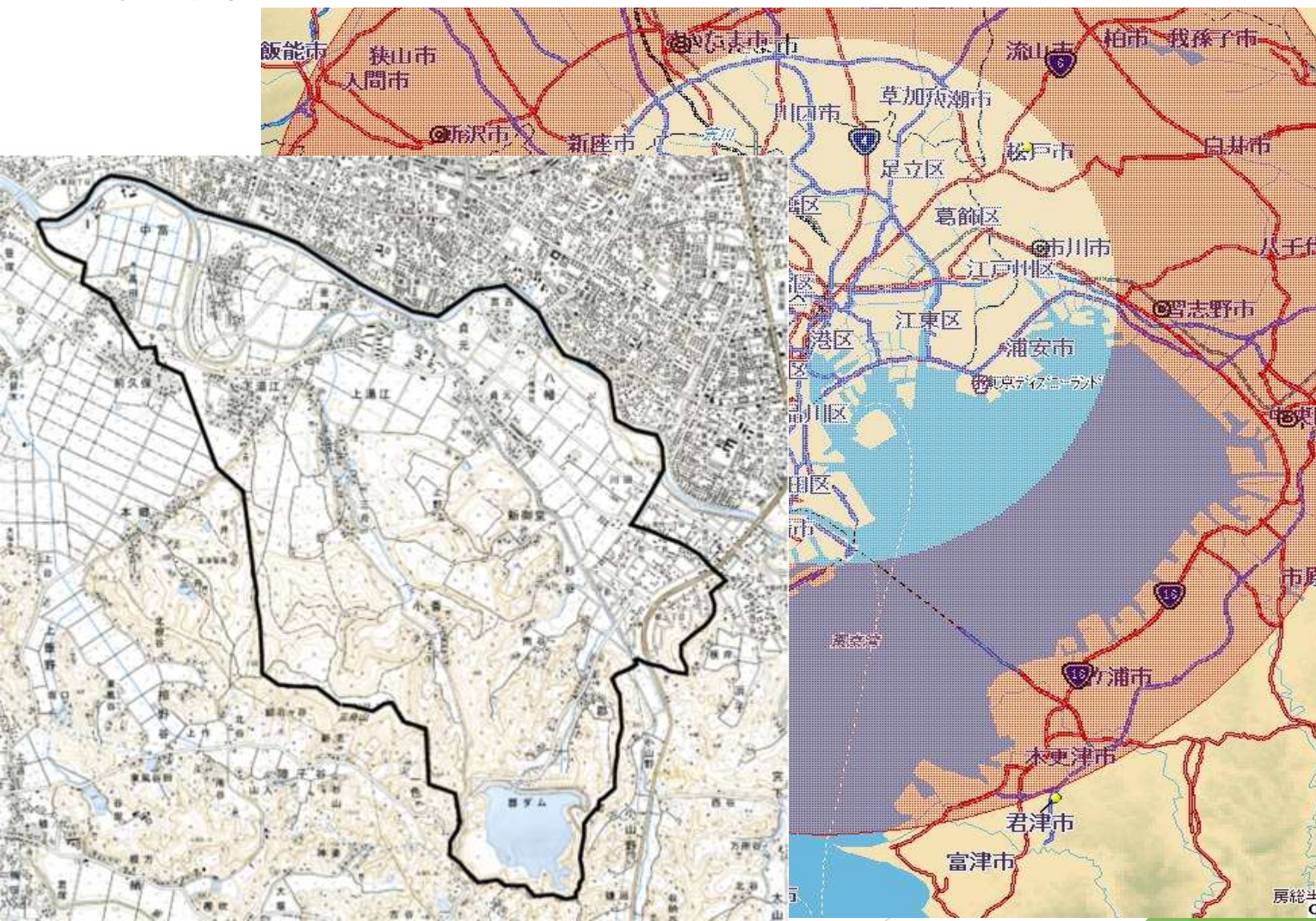
①「お客さんが歩くようになって、田んぼも道も家の周りも、きれいにしようかなって思いますね」（農村観光の現場で）

②「あぜ道を歩くのが観光なんて考えたこともない。ちょっと驚きだよ」
（学生提案について住民の発言）

→俗にまちづくりに必要なのは「よそ者」、「若者」、「馬鹿者」
（地域づくりへの学生参加も）

千葉県 君津市貞元地区のまちづくりの紹介

君津市文化のまちづくり1%事業
2008年～現在



東京20KM圏 松戸市 人口約50万人 東京駅まで30分

東京40KM超圏 君津市 人口約10万人 東京駅まで1時間

千葉(蘇我)まで40分
1時間半

貞元地区 の風景



環境点検（地域の宝探し）ワークショップ （10集落を1回1－2集落で数回）

環境点検とは
地域の環境（良いところ、課題）を、実際に歩いて
発見・発掘する

WSの特徴

- ①懇親が深まり、仲間になる
- ②共通体験をすることで自然と合意が容易に
- ③会議・講義と異なり、参加者が意見を出しやすい
- ④机の上で考えるのではなく、実際に歩く（作業）する
→抽象的にではなく具体的に物事を検討できる



「建物などが分かる地図を用意する」

1/2500～1/1000程度

住宅地図・自治体管内地図

環境点検の手順「地域の宝と課題を探そう」

- ①班に分かれます（1班5-7名前後）
- ②係りを決めます（班長、カメラ係、メモ係）
- ③ルートを決めます
- ④自己紹介、記念撮影しよう
- ⑤カメラ、地図を持って地域を探検
宝や課題に気づいたら写真を撮ってメモ
→公民館などでまとめ作業

環境点検のために準備するもの

①地図

地域のすみずみまでわかるような、大きな地図（A0, A1, A2 など）を用意する。都市計画基本図、住宅地図など 1,000 分の 1 より細かな地図がよい。地域で知られている神社、看板など、ランドマークとなる目印をあらかじめ記入するなどの工夫をするとよい。班で 2 枚ずつ用意する。1 枚は歩くとき用、2 枚目は帰ってきてからの結果を記入するためのものである。

②カメラ

インスタントカメラ（たとえば「チェキ」など）、もしくはデジタルカメラを、班の数だけ用意する。

デジタルカメラは、画質に優れるが、むらを歩いて撮った後で印刷する必要があり、持ち運びが容易なプリンター（写真専用プリンターなど）を用意する必要がある。筆者は、印刷のトラブル等で時間内に印刷が完了しない危険性も考え、インスタントカメラを愛用する。ただしフィルム代が高いのが難点である。また近年では、スマートフォンで撮影し、その動画を短く編集するなどして点検を行う場合もある。

②付せん、筆記用具、その他の文房具

最初の集合場所にもどって、意見を集約したり、同じような意見ごとにまとめたりするのに、付せんを使用すると便利である。7.5 cm×7.5 cmあるいは 10 cm×7.5 cm のような、大型の付せんが書きやすい。これと現地で撮影した写真を地図にべたべたと貼り付けていくのが、環境点検の方法である。最後の発表に向けて、見栄えを良くするために、油性ペンや定規、セロテープ、ノリなども用意するとよい。

班に分かれて出発（記念撮影）



気になった場所をメモ、撮影

(学生が質問→住民が答えるなど、疑問が新たな発見)

→画板も便利



環境点検で発掘された 資源や課題

お地蔵様



空き家

長屋門



土水路



郡ダム



イヌマキの生垣

環境点検の結果をまとめる

写真+ポストイット

①一人一人意見をポストイットに

②班の中で一つずつ説明し、

取捨選択、グループ化

③意見をまとめていく

④全体のまとめ

タイトルも話し合う

⑤メンバーの名前も書く

(班の名前も決めましょう)



発表会(班ごとに発表→意見交換)



稲むらの会

渡邊 山崎 二重 穂田 野村
小林 小川 小池 山崎
齋藤 横川



休耕地
(こま割ははるあつた)



くまの林と
お堀群 (里山)



お堀のまわりの
入田のあまのり
お堀のまわりの



お堀群の入口



昔の稲むら



戦前の草履馬路



大の訓練校



稲草の稲木群
(1971)



集落俯瞰



大きなザクロ味



最勝稲草畑
(1971年)



鎌で神をもく
名人



ビオトープに
活用できるかな?



お風なたすまい
庵がある様子

まとめ

里山の風情を残すむら

課題

里山を整備して楽しい地域の活力の礎とする

学習と交流を通じて

ホタルと棚田の里

山崎 山崎 山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎 山崎 山崎
山崎 山崎 山崎 山崎 山崎



ホタルの生息環境



歴史資源
お堀のまわりの



お堀のまわりの



お堀のまわりの



お堀のまわりの



美しい棚田
とつたのは
お堀のまわりの



お堀のまわりの



お堀のまわりの



歴史資源
お堀のまわりの



歴史資源
お堀のまわりの



美しい棚田
とつたのは
お堀のまわりの



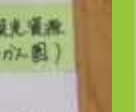
お堀のまわりの



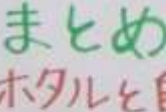
お堀のまわりの



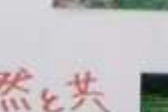
歴史資源
お堀のまわりの



歴史資源
お堀のまわりの



美しい棚田
とつたのは
お堀のまわりの



お堀のまわりの



お堀のまわりの



歴史資源
お堀のまわりの



歴史資源
お堀のまわりの



美しい棚田
とつたのは
お堀のまわりの



お堀のまわりの



お堀のまわりの



歴史資源
お堀のまわりの



歴史資源
お堀のまわりの

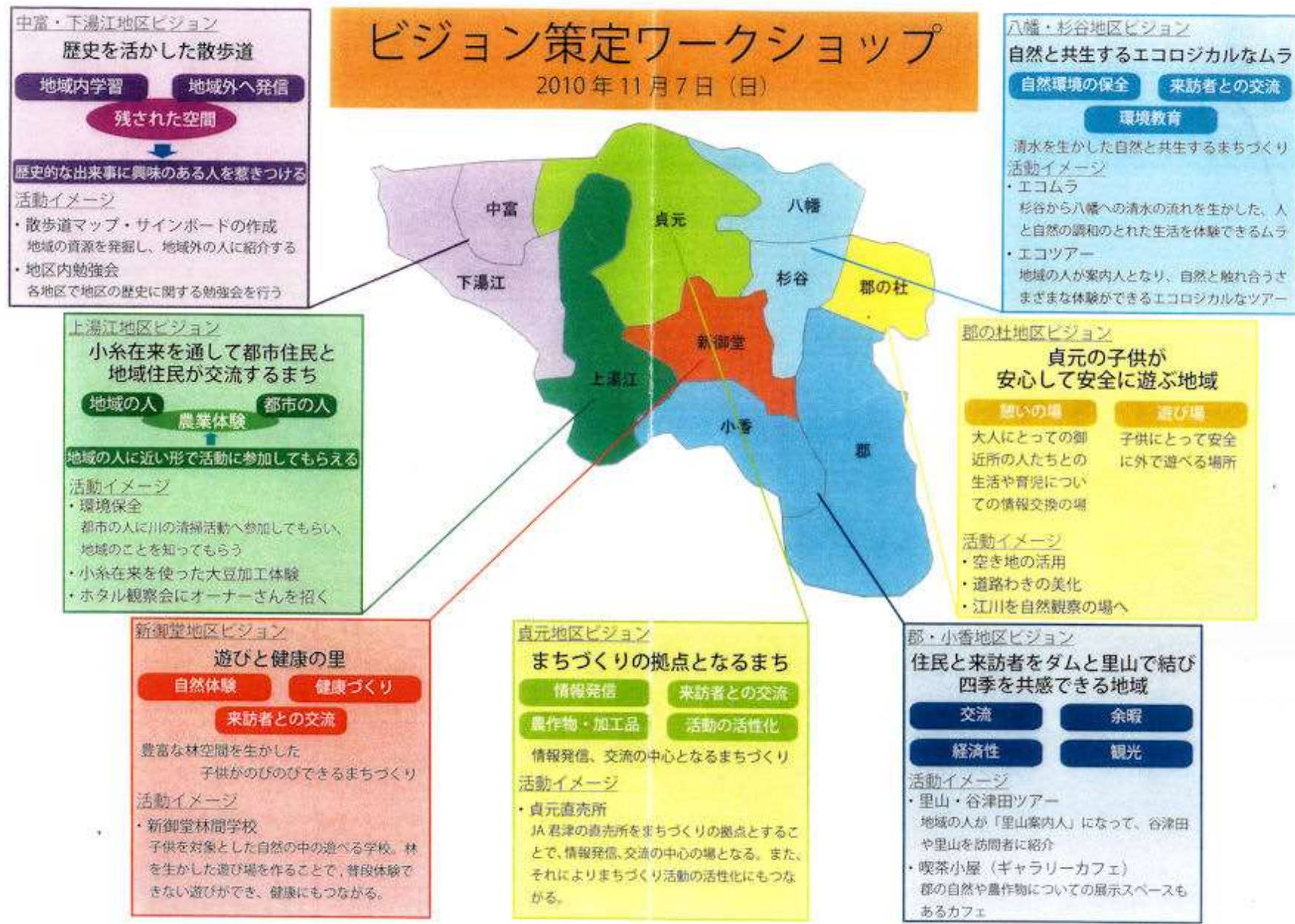
まとめ
ホタルと自然と共生
できる環境をつ
くる必要がある。

課題
里山を整備して楽しい地域の活力の礎とする



地域ビジョン策定ワークショップ

(環境点検から各集落のビジョン例示)



自然

と群の中でふれあいができる

まぢづくり

姓名: 王明

[illegible]

交流班 自然と緑の中でふれあいができるまちづくり

手作り交流	散策交流	整備	勉強会
・こんにゃくづくり ・小糸在来で豆腐、きなこ、みそづくり ・枝豆でずんだもち	・しじみ、名水めぐり ・河津桜、あじさいハイキング ・野の花ハイキング ・巨木巡りツアー ・歴史散策ツアー ・三舟山ハイキング	・ギャラリーカフェづくり ・案内所 ・歴史博物館 ・芝桜 ・彼岸花ロード ・子供の遊び場づくり	・マップづくり ・ホテル勉強会 ・貞元案内人を育てる

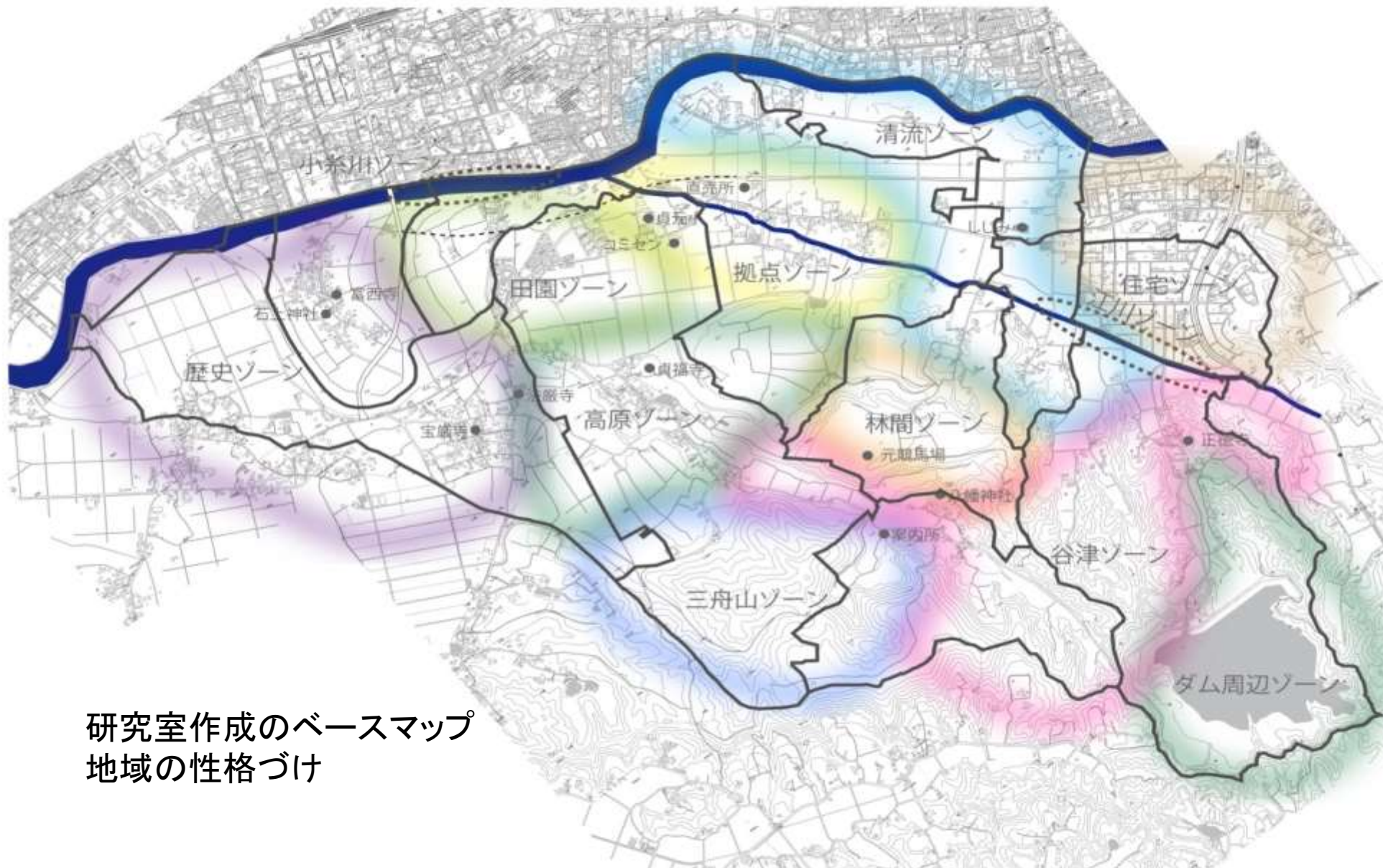
農林業班 貞元ブランドを作る（貞元米、貞元芋・おかわかめ）

貞元ブランド	新作物づくり	加工品販売	観光農業
・おかわかめ ・貞元ブランド米 ・貞元芋 ・小糸在来	・江川でクレソン ・ブルーベリー ・パッションフルーツ ・いちじく ・お米の有機栽培	・竹炭 ・こんにゃく ・みそ、豆腐、きなこ ・ジャム	・観光いちご園 ・観光農園
			新規就農 1段階 キャベツ生産 2段階 地元就農への誘導

生活班 貞元地域のコミュニティを育てる

新しい貞元コミュニティ	貞元コミュニティの活性化	環境美化	問題点
・若い人も参加できるサークルチーム作り ・お年寄りから子供たちへ伝統文化を伝える体験教室 ・声かけ、助け合い運動	・貞元コミセンの有効活用（パソコン、インターネット、施設の拡大）	・ゴミを生かそう（生ゴミ、資源ゴミ等）	・医療、介護問題 ・高齢化問題（子供との同居人が少なくなった） ・交通手段の確保（コミュニティバス、買い物物が困難）

地域プロジェクトを考えるWS



研究室作成のベースマップ
地域の性格づけ

ビジョンに基づくプロジェクト

① ビジョン1（自然や歴史を活かし地域外の人を呼び込む）

→江川花の道づくり

→貞元花の道づくり

② ビジョン2（貞元ブランドをつくる）

→貞元餅、お米餅の開発

③ ビジョン3（地域内の交流を進める）

→地元小学生と里山探検

江川花の道づくり 球根植え付け作業





花の道鑑賞会



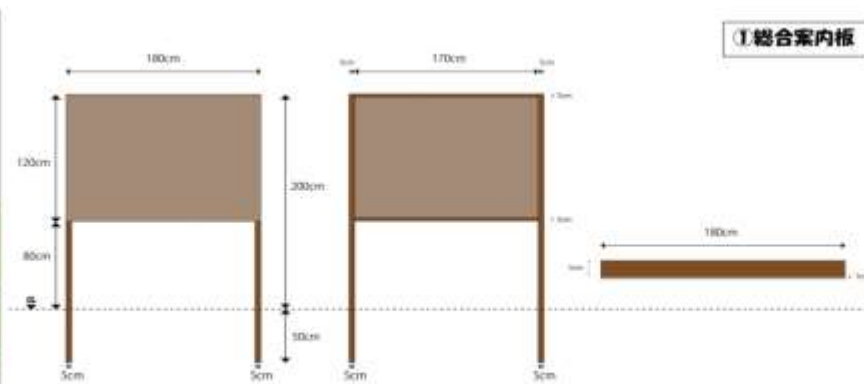
貞元花の道づくり 散歩ルート探検WS



「看板をデザインする」WS



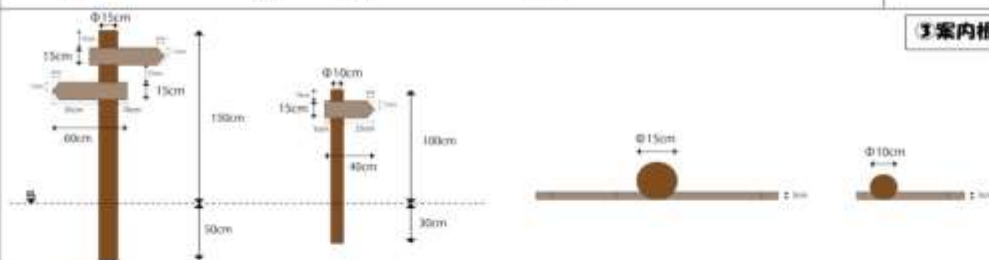
「貞元の散歩道をつくろうプロジェクト」



①総合案内板



②見どころ板



③案内板

看板材料

種類	寸法(cm)	枚数(本数)	設置予定数
総合案内板	180×120×1	1	1カ所
	3×4×170	2	
	5×5×250	2	
見所板	3×70×10	9	9カ所
	3×80×10	9	
	5×5×130	18	
	81×90×3	9	
案内板-1	φ15×200	5	5カ所
	15×60×3	11	
案内板-2	φ10×130	25	25カ所
	15×40×3	25	





看板の据え付け



散歩マップ



モニターツアーの実施



地元小学生と里山探検





おこめ餅の販売

その他の活動1

もったいない活かそう地域資源運動



余剰キャベツの収穫イベント

その他の活動2 「文やっこ農園」の開設



収穫祭イベントのご案内

新米農園づくりによる新米試食会」10月31日(日)10:00～

去年から始まりました「文やっこ農園」。
今年も田んぼでは立派な新米が採れました。
そこで、とれたて新米を試食してもらい、
地域のみなさまにもっと農園を知ってもらいたい、
という思いから学生主導でイベントを企画しました。



イベント内容

- ①おにぎりづくり-具材持ち寄りであみなでおにぎりをつくりまます。
自分用と試食用を作ります。試食用はみんなで試食し、一番おいしい具材を探します。
- ②畑の手入れ-お米をくれたオーナーの文やっくさんに感謝をこめて、畑の手入れをします。
- ③五右衛門風呂体験-手作りの五右衛門風呂を体験してみます。
海パン・水着持参!
- ④ツリーハウス見学-歩いて行けるところになんとツリーハウスがあります。
ターザンロープも体験できるかも。

問い合わせ: 千葉大学園芸学研究科修士2年 須川陽平
09059996853 E-mail: y.sugawa@gmail.com



学生の参加

学生の提案

学生が入ることによる活性化

学生にとっての地域学習



CONCEPT 郡まるごと 学校化プロジェクト

谷津田の里学園

学びの場

農村の暮らし
自然とのふれあい
地元の人々との交流
第二のふるさと



地元の人々

知らなかった魅力
明るさ・元気
谷津田の（里山景観）の維持・向上



都市の子ども

拠点：谷津田の里学園

- ・東京や神奈川県など都市部に暮らす小2～6年生対象
- ・親元を離れて1年間留学。郡津市内の小学校に通う
- ・夏休み、冬休みは自宅に帰る
- ・炊事や洗濯などは分担して行う
- ・週末や休日を利用して、様々な体験活動やイベントに参加
- ・各種イベントには親も参加する一親と地域の人々の交流の機会
- ・地元の方々（大人と子ども）にも、各活動やイベントに参加・指導していただく

郡全体をひとつの「学校」と見なし、ゾーンごとの特徴に合わせた計画。提案（ソフトとハード面）を行う

図工 / 道徳

ZONE2 昭和の文化を体験する

① 炭焼き広場

炭焼き小屋を復元
作業スペースを設け、炭焼き体験施設に



体験工房 郡産の材料を使った体験

炭焼き体験の炭焼き広場
木炭や竹炭作り…里山、竹林の間伐材利用

竹細工@地蔵寺

竹林の間伐材利用（ダム、地蔵寺の竹林）
かし、竹とんぼ、竹馬など

・わら細工@正福寺

稲作で出たわらを利用
わら草履、わら扇など

寺の復活

体験活動の場 / 子どもたちの遊び場
地域の人々のふれあいの場

② 地福寺

・本堂を復元



③ 正福寺

・階段下のスペースに植栽。ベンチ→寺の目印 / OS をふれあいの場に
・正福寺前の県道沿いの歩道を広くする（安全確保）



④ 南養院

・集落から離れた静かな寺

昔の文化体験

お寺で鑑賞会@南養院

- ・昔の文化の復活
- ・映画や芝居、お話会など（公民館などでもやるもの）

昔の遊び@正福寺、郡川

- ・子どもたちの遊び場だった寺や山、川
- ・こま、すもう、缶蹴り、虫取りなど

学級農園

ZONE1 谷津田で農業体験

水田の景観を維持・向上する

谷津田で稲作体験

主に奥にある小さめの谷津田を利用
→今後荒れ地になる可能性が高い



荒れ地で野菜作り

谷津田の周りに目立つ荒れ地を耕し、野菜農園に

雑木林の手入れ

- ・雑木林の間伐や草取り
- ・美しい里山景観を維持・管理する

収穫祭 & 餅つき大会

- ・季節ごとに1～2回開催
- ・採れた野菜や米で食事会や料理教室
- ・地域の人々への感謝を込めて

谷津田の里学園

立地・環境

- ・大きな道路から離れた小集落のそば
- ・狭い道から一気に視界が開け、谷津田の風景が広がる
- ・現在使われていない空き家とその周辺のスペースを利用



外観イメージ・構造

- ・地域の方が気軽に来れる OPEN なつくり
- ・木造2階建て（2人部屋×10）
- ・荒れ地を耕し、苗床に



郡川清掃活動

- ・定期的に清掃を行う
- ・谷津田は貴重な生き物の宝庫 → 生き物が棲める郡川に
- ・川と水田がなす美しい田園風景を取り戻す



郡川清掃活動

- ・定期的にゴミ拾いなど
- ・入って遊べる美しい郡川に
- ・水田と民家との間を流れる川として景観をつくる

校庭 / 裏庭

ZONE3 郡ダムで自然とふれあう

駐車場
休憩所休憩所
たけのこの里

堤防花壇

斜面・荒れ地で花の栽培→ダムと水田の境界を視覚的に調和させる



ダム1周ハイキングコース

- 見晴らしの道
- 竹やぶの道
- 木陰の道
- 青空の道



コースには数カ所の休憩所・展望台を設置

春のタケノコ祭り

- ・竹やぶの道「たけのこゾーン」でタケノコ祭り
- ・広場で収穫祭



イベントいろいろ

- 釣り大会
- 星空観望会

自然観察ハイキング

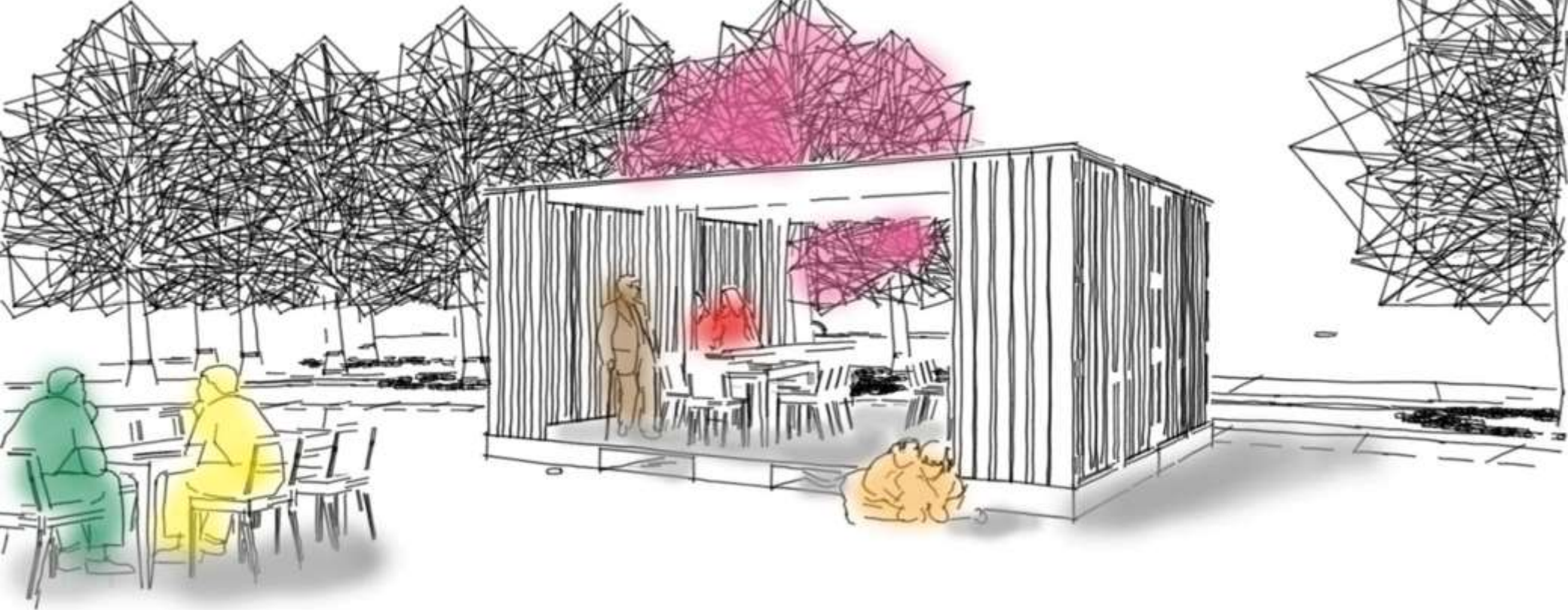
- 歩きながら、里山～ダム周辺の自然観察



六手貞元線ポケットパークの学生提案

-協力 君津市土木課





地域調査(地域の実態を知る)

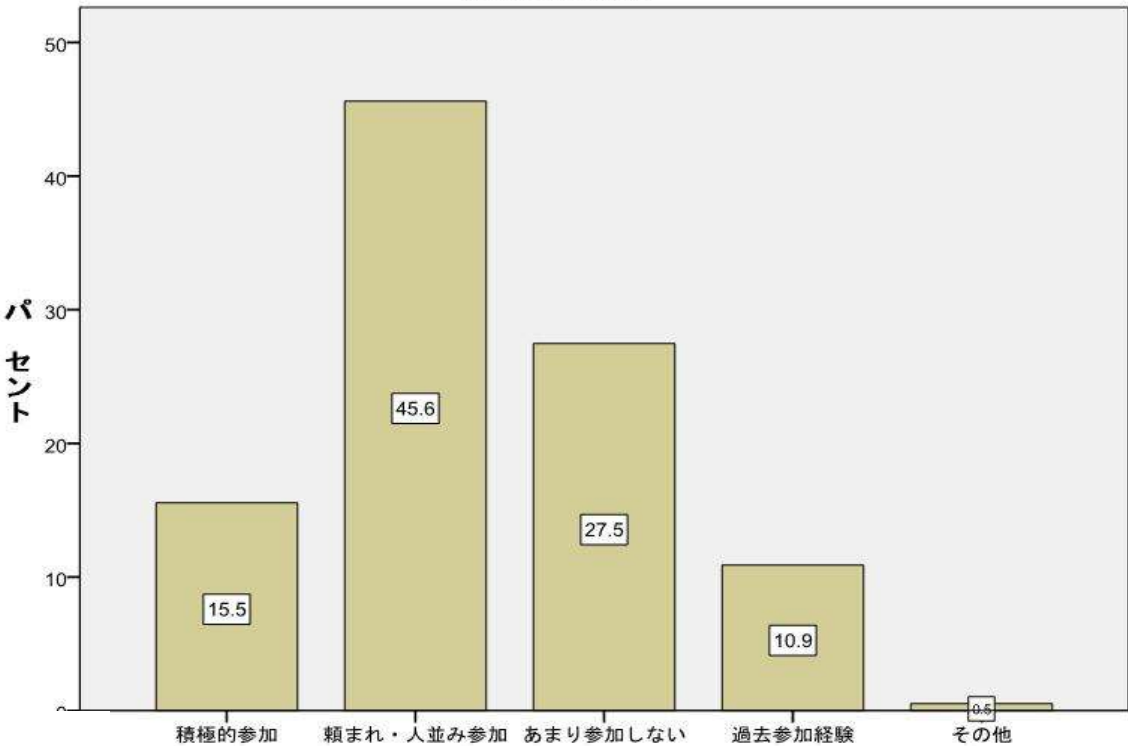
地域活動参加

あまり参加しない人が3割程度いる

意識は①義務②多忙、時間が合わない
が併せて4割ぐらい

③楽しみ、④やるべき、⑤なくなると寂しい
が併せて2割ぐらい

地域活動参加



地域活動参加

\$地域活動参加意識 度数分布表

		応答数		ケースのパーセント
		N	パーセント	
\$地域活動参加意識 ^a	楽しみ	40	5.9%	10.5%
	やるべき	58	8.5%	15.2%
	なくなると寂しい	70	10.3%	18.4%
	義務	153	22.5%	40.2%
	面倒、煩瑣	48	7.1%	12.6%
	多忙・時間合わず	130	19.1%	34.1%
	話合わない	23	3.4%	6.0%
	活動興味持てない	34	5.0%	8.9%
	同年代少ない	40	5.9%	10.5%
	契機あれば参加したい	64	9.4%	16.8%
	その他	19	2.8%	5.0%
合計		679	100.0%	178.2%

a. 2 分グループを値 1 で集計します。

先進事例の視察

「どのような点に悩んでいるのか」
「自分たちもできるんじゃないか」



懇親会

まちづくりの潤滑油

これ目当てで参加する人もいる



貞元地域における活動の3本柱

①大学による基礎調査と学生提案（問題提起・刺激）

②大学・地域の環境点検、ビジョン策定、プロジェクト実施ワークショップ（まちづくりの基礎体力アップ）

「現状把握・調査→全体構想→個別の計画」

→江川花の道、子ども里山探検

③地域独自の取り組み

生活部会、産業部会、交流部会の活動→

もったいない運動、文やっこ農園、おこめ餅の開発

- 2007年：立ち上げ準備（組織整備、事業申請等）
- 2008年～2010年：環境点検ワークショップ
- 2008年：環境造園実習の調査と提案（学生）
貞元地域踏査（研究室）
- 2009年：先進事例地の視察（茨城県笠間クラインガルテン、里山を守る会）
地域の暮らし・土地利用調査（研究室）
君津市全域踏査（研究室）
- 2010年：地域ビジョン策定ワークショップ
地域プロジェクト策定ワークショップ
ホームページの立ち上げ
もったいない活かそう地域資源運動（ミカン狩り、余剰キャベツの収穫）
市民農園の実質的立ち上げ
地域の余暇調査（研究室）
- 2011年：江川花の道をつくる
- 2012年：コミュニティを育む→子ども貞元探検ワークショップ
長命餅の開発と販売
- 2013年：散策コースの設定、マップ・看板づくり
- 2014年 モニターツアーの実施、7年間の振り返りレポートの作成

文化のまちづくり市税1%支援事業(平成20~22年度)

新たな貞元地区文化の創造

(概要版)

—もったいない活かそう地域資源—

- ◎ 年次計画
- 20年度 まちづくりの基礎力や推進を高める
 - 21年度 調査資料のまとめ、提案事項の検討
 - 22年度 地域ビジョン策定、提案事項の実現と自立事業化

- ☆ 部会活動
- 生活・環境部会
- 20.10.26 基本方針、進め方
 - 21.02.26 事例紹介
貞元地区として「いやさか路り」に参加
 - 21.06.13 21年度活動について
 - 21.08.23 事業計画の具体化について
 - 21.09.19 ミカン狩りについて
 - 21.11.01 事業の具体化について
- 産業部会
- 20.10.18 進め方、地域資源について
 - 20.11.21 産業に関する提案と課題、事例について
 - 21.8.23 事業計画の検討
 - 22.01.24 もったいない活かそう地域資源メニューの作成
- 観光・交流部会
- 20.11.30 観光資源、郡ダム・三舟山の現状
 - 21.08.23 事業計画の検討
 - 22.11.03 貸し農園交流会

- ☆ 広報紙 貞元まちづくり
- No1 20.12.01
設立総会、講演会、委員名簿
- No2 21.03.31
ともに考えよう少子高齢化
- No3 21.11.19
先進事例地の視察
・さだも地区の子どもの遊び生活調査結果
・新米味くらべ
・貞元地域の暮らしの姿
- No4 22.03.19
貞元地域土地利用分布
・もったいない活かそう地域資源運動
- No5 22.10.21
・もったいない活かそう地域資源運動調査結果
- 広報
・キャベツ・小糸在来ほか販売
・月刊コロンブス9月号に掲載
・ふるさと往来クラブ 小糸在来を東京で販売
- 広報
・ポスター展示(情報センター)
- 広報
・22.11.20 活動事例発表団体

- ☆ アンケート調査
- 21.03.31 貞元まちづくりについて
対象 まちづくり推進委員



- 参考図書・事例
- ・自立と協働によるまちづくり読本
 - ・ふれあいマップ貞元
 - ・まちづくりテーマ例
 - ・第3次まちづくり計画提案(貞元地区)
 - ・奥米地の宝物マップ(兵庫県)
 - ・市民まちづくり提案書(市原市)
 - ・県の里山・森プロジェクト(県総合企画部)
 - ・兼業・女性・退職者が「楽しみながら無理なく」農地を維持するために(大野台農業振興研究会)

- 農地・水・環境保全向上対策
(19~23年度)実施地区
- ・19年度から上湯江
 - ・20年度から貞元・中富

- 市等の方針
- 第3次まちづくり計画(貞元地区)
- 市街地との隣接性と豊かな緑を活かした「居住環境の形成」「ふれあいのできる地区」を目指します。
- また、整備方針を、「三舟山の丘陵地に自然公園的レクリエーションエリアの形成を図る」「農業環境を整備し、都市近郊型農業を振興する」として、まちづくりをすすめます。

- 主要事業
1. 郡ダム周辺観光施設整備事業(マップ参照)
(基本計画 19年度前工観光課作成)
 2. ふれあい公益林整備事業(三舟山周辺)
 3. 六手・貞元線延伸事業
 4. 西ノ作公園整備事業(郡区画整理内)
 5. 富久橋歩道設置事業
 6. 小糸川夢プラン関係事業
(仮称)君津ふれあい広場の整備
 7. 梅田川排水整備事業
 8. 貞元学校用地整備検討

- 地域のイベント
- 小糸川の祭り
- ・桜祭り(4月上旬)
 - ・あじさい祭り(6月中旬)
 - ・花火祭り(9月下旬)
- その他
- ・三舟山&郡ダムお花見ウォーク(4月上旬)
 - ・ふれあい祭り(8月上旬)
 - ・小糸在来収穫体験(10月中旬)
 - ・どんと焼き(貞元・郡 2月上旬)

- 凡例
- 大学と委員会協働活動
 - △ 大学による調査等
 - ☆ 委員会活動
 - 無印 市等の計画

- 22.11.20 作成
貞元地域まちづくり推進委員会
- ◎ 大学と協働活動
- ワークショップ(地区別環境点検)
- ・20.08.23 上湯江
 - ・21.01.18 郡
 - ・21.09.19 新御堂・小香
 - ・21.11.28 下湯江
 - ・22.01.24 杉谷・八幡
 - ・22.05.23 中富・釜神(学生と)
 - ・22.06.05 貞元
(全集落終了)
 - ・22.11.07 地域ビジョン策定

- △ 大学による調査等
- 報告会
- ・20.10.08 アドバイザーインタビュー調査
(長老・組織団休長、産業3名)
 - ・20.10.22.28 貞元地域調査
 - ・21.06.02.03.08 アドバイザー市内調査
 - ・21.08.23 貞元地区子どもの遊び生活報告
 - ・21.10.22 アドバイザーインタビュー調査
11.01 (定年者8名)
 - ・21.11.01 貞元地域の暮らしの姿 報告
世帯、お仕事、農業の形と展望
アドバイザーインタビュー調査
(勤労者6名)
 - ・22.02.07 貞元地域の土地利用分布調査報告
勤労者男性の余暇に関する
アンケート(貞元地区全世帯)
アドバイザーインタビュー調査
(勤労者2名)
- 講演会
- ・08.06.21 地域の暮らしとまちづくり
齋藤雪彦先生(アドバイザー)

- ◎ 先進地視察
- ・09.07.04 特定非常勤法人 里山を守る会
(茨城県関根町)
空間市クラインガルテン
(茨城県笠間市)

- ◎ 新たな貞元地区文化の創造
- ・もったいない活かそう地域資源運動
(地元ミカン狩り、新米販売)
 - ・困りごと24助け合い活動(市場自治会)
 - ・市民農園開設(杉谷)
- 22年度以降計画・実施
- ・地域ビジョン策定
 - ・ホームページ立ち上げ
 - ・もったいない活かそう地域資源運動
(メニュー登録者拡大、文化遺産・本マップ内商工業の活用)
 - ・22.07.04 余剰キャベツの取り放題
 - ・貞元ブランドの創出
 - ・新たなまちづくり事業、ルール作り

勝浦市の地方創生まちづくり 松野地区「里あかり」



「こんなところ(里山)にお客さんが来るなんて」(勝浦市職員)

鵜原区ほうちょう餅作り体験



散策マップづくりと歩こうイベント



地引網体験



地域高齢者のための日曜市の開催
(買い物難民対策・交流の場づくり)



大船渡市細浦地区
復興朝市の企画・朝市上屋の企画・設計



2018年 植樹祭の企画・参加



2018戸定祭 大船渡さんま炭火焼き

復興土地利用計画策定 →大船渡市の土地利用計画

景観シミュレーションの作成
→岩手県の防潮堤の設計変更





復興広場 (細浦シーサイドパークの設計)

「津波で流されたけど、お祭り広場、話できるところもできて」(細浦住民)

東御市のまちづくりへ伝えたい7つのこと

- ① まちづくり＝地域を住みやすくする
→住みやすさ、魅力ある地域＞観光
- ② 全体を考える（市が良くなるには）、部分を見る（環境点検）
全体⇔部分
- ③ 参加しない市民にいかに賛同（参加）してもらえるか
→本当に地域が住みやすくなるか・市民に大事なことが
- ④ 住民を巻き込む
→特定の人がやっても持続しない、広がらない
- ⑤ 「小さなことを一つずつ」「長い時間かけて」
→達成感で次につながる、気運が盛り上がるには時間が必要
- ⑥ 楽しむことも目的の一つ
→楽しくやると人が自然と集まる
- ⑦ 共通の体験をする、同じ釜の飯を食う
親しくなる、自然と同じものが見えてくる、合意形成に

提案：環境点検から始めてみませんか